

令和6年度 第2回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和6年12月23日（月）15時30分～16時00分

場 所：Web会議

出席者：

所属	職名	氏名	備考
埼玉県	企画財政部 政策・財務局長	都丸 久	議長
	産業労働部 産業政策局長	浪江 治	
	企画財政部 北部拠点政策幹	山川 直也	
	産業労働部 産業拠点整備推進幹	北島 義丈	
熊谷市	総合政策部長	増田 和昭	副議長
	総務部長	長谷川 和博	
	都市整備部長	小平 明彦	
	建設部長	山下 克巳	
	総合政策部 企画課 北部地域振興交流拠点担当副参事	持田 保彦	

1 会議の進め方と目的

- ・本日の会議は、北部地域振興交流拠点整備に向けた県と熊谷市の検討状況について情報共有を行うとともに、基本構想策定に向けた今後の県市双方の予定について確認するものである。

2 県及び熊谷市の検討状況に関する主な説明

- ・県では、「北部地域振興交流拠点の整備の方向性」「産業振興機能」等を中心に検討を進めた。
- ・「北部地域振興交流拠点の整備の方向性」について、北部地域振興交流拠点は産業振興機能など「地域の活力を向上させる機能」と地域機関の集約による「行政機能」の2機能の導入を予定している。これらの機能が最大限発揮されるような整備のあり方について検討を進めていく。
- ・地域機関の集約にあたっては、庁舎にかかる今後の維持管理費の効率化だけでなく、災害時の危機管理体制の強化という視点も加えて、対象機関を幅広く検討しているところである。
- ・「産業振興機能」について、経営支援や創業支援はもとより、食と農のイノベー

ション創出をテーマに、生産者、食品事業者、農作物の加工技術等を有するテック企業などの交流促進によるコミュニティ形成や、あらゆるステージにおける包括的な支援とともに、地域活性化にも寄与する取組を検討している。

- ・市では「市役所機能の規模」「市庁舎の整備エリア」「整備予定地の土地利用方法」等を中心に検討を進めた。
- ・「市役所機能の規模」について、21,000~22,000 m²を見込んでおり、DXの進展等を踏まえ今後精査していく。
- ・「市庁舎の整備エリア」について、市民が参加するワークショップにおいて意見をいただいたほか、市議会議員・外部有識者・公募市民等で構成する熊谷市庁舎整備検討委員会において、複数の案を比較し、北部地域振興交流拠点整備予定地を最有力の候補地と決定した。
- ・「整備予定地の土地利用方法」について、整備予定地内の市道における交通量調査の結果を踏まえ、当該市道の取扱いについて関係機関との調整を進めていく。

3 その他

- ・県と市で検討中の基本構想について、今後のスケジュールなどを報告し、今年度中の策定を改めて双方で確認した。
- ・産業振興機能の議論を深めるため、次回から市産業振興部長を委員に追加することとなった。